

今年の桜の季節は、例年になく早くやってきて、あつという間に過ぎていってしまいました。全国的な傾向ですが、北海道も記録的な早さでした。

もちろん桜の花は、とうに散り、八重桜が春の華やかさをわずかに残している神居岩総合公園で、5月19日に市民植樹祭が行われ、多勢の市民が桜の苗木の植え込みに心地よい汗を流しました。

なぜか北海道の花見の名所といえば、松前、五稜郭、静内、札幌など南の地域に限られているのが、何とも残念でならない思いをしてみましたが、日本人の心情としては、春はサクラという気持ちは強く、「この道北にも名所が欲しい。いつそのこと、留萌に道北一の桜の名所を」ということになってしまいました。

だが、よく考えてみれば、これらの名所も初めから名所だった訳ではなく、一本一本植えることから始められたことは当たり前です。

留萌に道北一の桜の名所を

Norihikoのパッショントーク2

よね。そこで、まず植えようというところで、新世紀にちなんで、「21世紀の桜の丘」事業と名付けてスタートして3年目。子ども

誕生や入学、結婚など人生のたくさんある節目の記念植樹を考え出し、多くの市民のみなさんに、協力していただいたお陰で、3年間で320本の



桜を植えることができました。

間違はなく木は育ち、1、2年前とは見違えるほど枝を張って、立派な花をつけている木を見るにつけ、まちづくりというのは、こんな一つひとつの積み重ねのことを言うんだなと実感しながら、市民の力でこれから20年、30年と桜の木が植え続けられることを夢見ています。

Naganuma Norihiko & Citizen in Passion Talk.....

市長と語ろう！

ほっとなトーキング

いろいろな話題で、市長と語り合ってみませんか？

話題は、港、まちづくり、福祉、教育、地域のことなど、なんでもOKです。

みなさん一人ひとりとお話できるように、1回の人数は15人までとさせていただきます。

日時、場所は、ご相談の上決めさせていただきます。

職員と語ろう！

お茶の間トーク

市役所の仕事について、市役所の職員から説明を聞いたり、意見交換をしてみませんか？

市町村合併のこと、フェリーのことで、除雪、ごみなどテーマはなんでもOKです。

【出前トーク】

市民からの申し込みにもつづき、市職員が出向き、市政や施策、制度等について「説明会」、あるいは「意見交換会」などを行います。

テーマ、日時、場所を決め、団体、グループ、サークル、町内会など、10〜20人ぐらいでお申し込みください。申込方法は、電話か電子メールで受け付けています。

【出張トーク】

市の担当課の発案にもつづき、市職員が市民に対して、市政や施策、制度等について「説明会」、あるいは「意見交換会等」を行います。これまでも、ごみ有料化、除雪対策など、各町内会におじゃましています。テーマ、日時、場所は、広報誌や町内回覧でお知らせしますので、ぜひご出席ください。

市長と語ろう！ ほっとなトーキング 職員と語ろう！ お茶の間トーク

■問合せ&申込み
市役所企画課広報広聴係
☎42・1801内線293まで
電子メール
rumoi@seagreen.ocn.ne.jp

留萌市と小平町が共同で建設する新火葬場（平成16年2月オープン予定）について、今月と来月の2回にわたり、レポートします。

古くて、狭い、現火葬場

現火葬場「留萌霊苑」（大和田町）は、昭和46年、近代的な施設として建設されましたが、約30年が過ぎ、建物は古くなり、遺族控え室も狭く、告別・収骨は炉前を使うなどの「いやし」に対応できない施設となつていきます。また、火葬後は自然冷却のため時間がかかり、煙対策も除去装置はありますが、効果が低く、環境保全の面からも整備が必要となつていました。

一方、小平町では、鬼鹿地区の火葬場が古くなり、建て替えの時期を迎えていたため、留萌市と小平町とが共同で、新しい火葬場を建設することになったのです。

建設場所は、新墓地用地

新火葬場の建設計画のこれまでの経過を振り返ってみましょう。○H12年3月 移転改築決定。将来の広域利用を考え、留萌市、小平町、増毛町共同での建設を検討

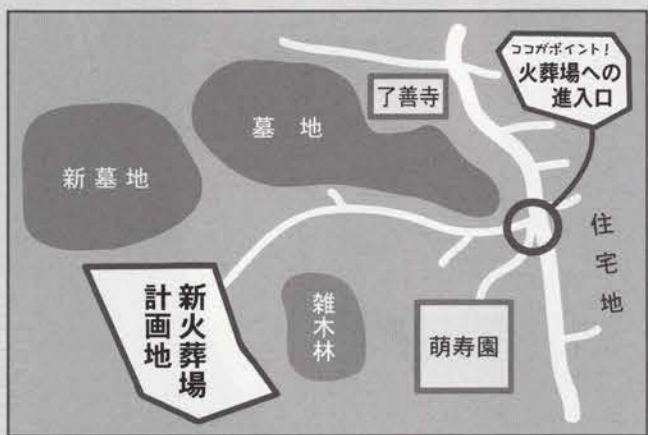
したが、増毛町は「ましけ葬苑」を継続することになり、H13年4月、留萌市と小平町による共同建設となった。

○H13年5月〜6月 留萌市内9カ所、小平町内3カ所、計12カ所の建設候補地を選定。交通、眺望、面積、地質・地形、道路、環境など11項目の環境評価（立地条件）を実施し、6カ所に絞り込み。

○H13年8月〜9月 6候補地について用地取得、敷地整備、道路整備、水道敷設など7項目の経済評価（整備費用）を実施し、3カ所に絞り込み。

①新墓地用地（沖見町/環境2位・経済1位）、②ヲム口の沢（塩見町/環境3位・経済2位）、③東大和町（環境1位、経済3位）

○H13年9月〜10月 3カ所の候補地の周辺町内会代表者、企業、施設などに説明会を開催（9回）。環境審議会、留萌市・小平町の両



広報クンが行く！ 「新火葬場建設は、今…①」

地の取得が容易
・留萌南部圏の広域利用に配慮
・墓地と一体感があり眺望も良好
・萌寿園との間には、雑木林があり双方の施設が遮断できる
○平成14年1月〜4月 建設予定

議会が建設候補地を視察。○平成13年11月 環境評価、経済評価、地元説明会や関係機関の意見をもとに、次の理由で「新墓地用地」（沖見町6丁目）に決定。
・土地開発公社所有地のため、土

課題は、萌寿園前の進入路

検討会議では、次の課題が指摘されました。

①煙、臭いの心配は？

最新の設備と技術で「無煙、無臭」、またダイオキシンなどの排出でも無公害の施設ですから、心配はありません。

②萌寿園の前を霊柩車が通るので、進入路を検討すべきではないか？
市と萌寿園とで、協議を重ね次の結論となりました。

・現在の進入路を拡幅し、新火葬場と萌寿園の双方に専用の入口を設け、その間に、遮へい物（形態は今後検討）を作り、萌寿園側から霊柩車が見えないようにする。
・2つの入口を間違えないよう案内表示を設置し、冬期間でもスムーズな通行が出来るように除排雪を行う。

※施設の概要、建設費、整備スケジュールは7月号をお楽しみに。
※詳しくは、衛生センター・小藪（☎43・2555）まで。